第6号様式（第9条の5関係）　（日本産業規格A列４番）

海技免状更新申請書

04

海技免状の有効期間を更新したいので、関係書類を添えて申請します。

海技免状の種類	

① 免状番号　"0"も含めて記入して下さい。

② 無線資格の確認を希望する場合は、受有する無線資格の種類　該当する枠内に×印を記入して下さい。　一総通　二総通　一海通　二海通　三海通　一海特
（注）国際航海に従事する海技士（航海）の方のみ記入して下さい。

（注）機械で読み込みますので、枠からはみ出ないよう明瞭に記入して下さい。

③ 申請者氏名　小文字区分　カタカナ
（注1）氏と名は1マス空けて記入して下さい。
（注2）全てカタカナの大文字で記入し、小文字にあたる文字については、直上の小文字区分欄の枠内に×印を記入して下さい。　例：ジュン → シ ヽ ユ ン
（注3）濁点、半濁点は1マスに記入して下さい。
漢字　現住所　〒　TEL　（　）

④ 出生年月日　出生年は西暦で記載してください。月日が1桁の場合は十の位に"0"を記入してください。　西暦　年　月　日

⑤ 性別　該当する枠内に×印を記入して下さい。　男　女

⑥ 本籍の都道府県名　（漢字）　都道府県

⑦ 国籍　該当する枠内に×印を記入して下さい。　韓国　朝鮮　その他の国籍はコード番号を記入して下さい。

⑧ 申請月日　月日が1桁の場合は十の位に"0"を記入して下さい。　月　日

⑨ 特例申請　該当する場合、枠内に×印を記入して下さい。
1. 本邦外長期滞在者の期間前申請
2. 複数免状の同時申請

※⑩ 更新要件　一号　二号　三号
※⑪ 講習機関
※⑫ 講習実施年月日　年　月　日
※⑬ 更新地方運輸局等　本局コード　支局コード
※⑭ 無線従事者免許証(写)の添付　有
※⑮ 免状交付年月日　年　月　日
※⑯ 免状返納の有無　有　無

〔注意〕
1. 手数料は納付書により納付して下さい。
2. ※印欄は記入しないで下さい。
3. 滅失により更新を受けようとする免状を添付できない者は、その事実を証明する書類を添付して下さい。

第6号様式（第9条の5関係）

（日本産業規格A列４番）

第6号様式（第9条の5関係）

海技免状更新申請書

海技免状の有効期間を更新したいので、関係書類を添えて申請します。

海技免状の種類

① 免状番号　"0"も含めて記入して下さい。

② 無線資格の確認を希望する場合は、受有する無線資格の種類　該当する枠内に×印を記入して下さい。　一総通　二総通　一海通　二海通　三海通　一海特
（注）国際航海に従事する海技士（航海）の方のみ記入して下さい。

（注）機械で読み込みますので、枠からはみ出ないよう明瞭に記入して下さい。

③ 申請者氏名　小文字区分　カタカナ
（注1）氏と名は1マス空けて記入して下さい。
（注2）全てカタカナの大文字で記入し、小文字にあたる文字については、直上の小文字区分欄の枠内に×印を記入して下さい。　例：ジュン → シ ヽ ユ ン
（注3）濁点、半濁点は1マスに記入して下さい。
漢字　現住所　〒　TEL　（　）

④ 出生年月日　該当する元号の枠内に×印又は西暦の枠内にコード番号を記入して下さい。　平成　昭和　大正　明治　西暦　年月日が1桁の場合は十の位に"0"を記入して下さい。（左欄で西暦を選択した場合、年の欄は西暦の下2桁）　年　月　日

⑤ 性別　該当する枠内に×印を記入して下さい。　男　女

⑥ 本籍の都道府県名　（漢字）　都道府県

⑦ 国籍　該当する枠内に×印を記入して下さい。　韓国　朝鮮　その他の国籍はコード番号を記入して下さい。

⑧ 申請月日　月日が1桁の場合は十の位に"0"を記入して下さい。　月　日

⑨ 特例申請　該当する場合、枠内に×印を記入して下さい。
1. 本邦外長期滞在者の期間前申請
2. 複数免状の同時申請

※⑩ 更新要件　一号　二号　三号
※⑪ 講習機関
※⑫ 講習実施年月日　年　月　日
※⑬ 更新地方運輸局等　本局コード　支局コード
※⑭ 無線従事者免許証(写)の添付　有
※⑮ 免状交付年月日　年　月　日
※⑯ 免状返納の有無　有　無

〔注意〕
1. 手数料は納付書により納付して下さい。
2. ※印欄は記入しないで下さい。
3. 滅失により更新を受けようとする免状を添付できない者は、その事実を証明する書類を添付して下さい。